

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道5号 <small>くろまつない</small> 黒松内道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道 <small>すつつ</small> 寿都郡 <small>くろまつない</small> 黒松内町 <small>たいせい</small> 字大成 至：北海道 <small>すつつ</small> 寿都郡 <small>くろまつない</small> 黒松内町 <small>しろいかわ</small> 字白井川				延長	4.7 km
事業概要	<p>一般国道5号は、函館市から札幌市に到る延長約283kmの道南地域と道央地域を結ぶ主要幹線道路である。黒松内道路は、北海道横断自動車道に並行する一般国道5号において、北海道縦貫自動車道との連結により、国土・地域ネットワークを構築し、物流効率化を支援するとともに、高速性、安全性、定時性の確保を目的とした延長4.7kmの事業である。</p>					
H9年度事業化	H一年度都市計画決定		H12年度用地着手		H12年度工事着手	
全体事業費	約158億円		事業進捗率	76%	供用済延長	0.0km
計画交通量	7,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体) 2.1	(残事業)/事業全体 47/181億円 事業費：34/168億円 維持管理費：12/12億円	(残事業)/事業全体 379/379億円 走行時間短縮便益：290/290億円 走行費用減少便益：70/70億円 交通事故減少便益：19/19億円	平成18年		
感度分析の結果	<p>事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.3（交通量+10%） B/C=1.9（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.9（事業費+10%） B/C=2.3（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=2.0（事業期間+20%） B/C=2.2（事業期間-20%）</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域のネットワークの構築（高速自動車国道と並行する自専道の位置づけ有り） 物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる） <p style="text-align: right;">他8項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域間交流の活発化と地域の均衡ある発展、安心して快適でうるおいのある生活環境の実現に向けて、黒松内町など1市13町6村の首長等で構成される期成会等より早期整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成9年度に黒松内道路に接続する道央自動車道虻田洞爺湖IC～長万部ICが供用開始。 平成13年度道央自動車道長万部IC～国縫IC間(L=11.1km) 供用開始。 平成18年度道央自動車道国縫IC～八雲IC間(L=21.7km) 供用開始。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成12年度より工事着手して、用地進捗率99%、事業進捗率76%となっている。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>不良土の現場内利用、伐根物の再利用等によりコストの縮減を図っている。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。